

10月10日(土曜日)「さあ行きなさい」

【新改訳 2017】

ルカ 10.3-16

「さあ、行きなさい。いいですか。わたしがあなたがたを遣わすのは、狼の中に小羊を送り出すようなものです。」(3節)

この後に続く具体的な指示は、時代と地域性という背景の中で主が語られたものです。もし、今日語られるとすれば、具体的な表現はもう少し違うことでしょう。しかし、その本質的な意味は変わらないはずです。

主は、御国の福音の宣教に、弟子たち(キリスト者)を用いられています。ある時は先に遣わし、ある時は同時に働かれました。今も肉眼には見えませんが、主は同じようにみことばと聖霊の働きを通してなさいます。また、宣教のための人が送られることは、狼の中に小羊を送るような危険があり、命がけの働きにつくことです。『平安』を祈っても受け入れたり拒否されたりします。日常生活の必要にとらわれていてはできません。ひたすら、神の国の福音をことばとわざで伝え続けなければならないのです。今は、すべての信徒がこの任を託されている

のです。

～祈り～

主よ。あなたのおことばの真意を覚え、お従いできるようにお助けください。どうか、伝道や証しに出て行く信仰者とならせてください。

【学びのために】

現代は、昔とは違った困難や危険もあります。しかし、祈りつつ、賢く、しっかりと宣教と証に励まなければなりません。多くの悩める人たちが、真の福音を探し求めているのですから。